

第6号様式（第5の2関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和7年度 第3回枕崎警察署協議会
会 議 日 時	令和8年3月9日（月曜日）午後2時30分から午後4時30分
会 議 場 所	枕崎警察署会議室
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下 6人 2 警察署 署長以下 8人
<p>（会議の概要）</p> <p>1 会議次第</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 会長挨拶</p> <p>(3) 署長挨拶</p> <p>(4) 協議</p> <p>ア 業務推進状況説明</p> <p>イ 警察署行政に対する意見・要望等について</p> <p>(5) 速度取締り指針説明</p> <p>(6) 諮問・答申</p> <p>(7) 閉会</p> <p>2 委員からの意見・要望等</p> <p>(1) 委員から「県警ホームページに、薩摩川内警察署員と警察署協議会委員が協同した、うそ電話詐欺被害防止キャンペーンが紹介されていたがどのような内容だったのか教えてほしい」旨の質問がなされ、警察署から「薩摩川内署に確認したところ、署協議会委員と署員が協同して複合施設で開催されたイベントに参加し、うそ電話等詐欺被害防止を呼びかける広報チラシを配布したとのことであった。当署においても、3月15日に開催される「まくらざき春の市2026」において、パトカーや白バイ展示のほか、採用試験の案内チラシや詐欺被害防止を呼びかける広報チラシ等を配布する予定である。」旨の説明があった。</p> <p>(2) 委員から「枕崎は海外船等の出入りが多いが、密輸や犯罪の取締り状況について教えてほしい。」旨の質問がなされ、警察署から「本県の密輸事件としては、平成10年以降、十数件ある。枕崎市関係では、平成10年10月に枕崎港を出港した漁船が覚醒剤約300キロを積載、密輸した事案があり、暴力団関係者を逮捕している。最近では、空港での摘発や豪華客船客の違法薬物所持事案が発生している。今後も、密入国を担当する本部警備課等と連携するなどして、この種事案の摘発に努めてまいりたい。」旨の説明があった。</p> <p>(3) 委員から「枕崎署管内の湾岸警備の現状」についての質問がなされ、警察署から「枕崎市の海岸線は、約16キロにわたるリアス式地形を有しており、当署では、パトカーや交番員等により沿岸線等の流動警戒などを実施している。近年では、海外からカツオを直接水揚げするマルシップ船の入港が増えており、乗組員のほとんどが外国人である。今後も、海上保安署等との連携強化に努め、外国船籍やマルシップ船の入港等の把握や、必要に応じた警戒等を実施してまいりたい。」旨の説明があった。</p> <p>(4) 委員から「国道226号からディスカウストアへ進入する道路で、逆走車両を度々目撃する。本道が国道方向へ走行できない理由を教えてほしい。」旨の質問がなされ、警察署から「ディスカウストア前の一方通行については、昭和57年5月に、小売店舗の進出による交通量の増加等が理由で規制が始まったようである。現在も、ディスカウストアを始め、周囲に様々な施設が建ち並んでおり、特に夕刻時間帯は、車や自転車の交通量が多く、一時不停止の違反も多い場所であると認識している。一般的に、交通規制については、交通環境の変化を考慮し、適宜必要な見直しを行うこととされているので、今後、交通規制解除の必要性等について、付近住民や施設利用者、道路管理者等に対する意見聴取等を行いながら、その必要性について検討してまいりたい。」旨の説明があった。</p> <p>(5) 委員から「4月1日より自転車の交通違反者に対し、青切符が導入されるが、違反</p>	

行為の種類等について、あまり知られていないようなので、周知徹底してほしい。」旨の要望がなされ、警察署から「自転車に適用される違反行為の種類は113種類となっており、対象年齢は16歳以上となる。当署ではこれまで、自転車利用者の多い中央交番前や商業施設周辺道路等における街頭活動のほか、警察の広報紙を活用した周知広報を続けている。今後は、各学校の生徒だけではなく、教師や保護者対象の交通安全講話を企画するなど、全ての年齢層に対する自転車安全教育を進めてまいりたい。なお、自転車対象の違反や取締りの基本的な考え方については、県警や警察庁のホームページに掲載されている「自転車ルールブック」を見ていただくよう周知してまいりたい。」旨の説明があった。

- (6) 委員から「県道34号の美初交差点から中原三文字交差点間において、歩道を自転車で走行すると違反になるのか教えてほしい。」旨の質問がなされ、警察署から「美初交差点から中原交差点までの間の歩道には、普通自転車が歩道通行可となる標識は設置されておらず、同区間の歩道を自転車で走行した場合は、通行区分違反になる。」旨の説明があった。
- (7) 委員から「先日、窃盗団が捕まったとの報道を見たが、空き巣が多発しているようなので、巡回等をしていただけると市民も安心すると思う。」旨の要望がなされ、警察署から「昨年10月頃から鹿児島市内を中心に、枕崎市、いち串木野市、霧島市などで空き家を狙った侵入窃盗事件が多発したり、当署管内の茶畑に設置された防霜ファンの銅線が盗まれる被害が発生しているが、いずれも被疑者を逮捕している。この最近でも、太陽光発電設備に設置された銅線ケーブルが盗まれる事件が発生していることから、当署においては、自動車警ら班や交番勤務員による夜間の警戒パトロールを継続するとともに、犯罪の予防と検挙活動を強化し、市民の安全・安心に努めてまいりたい。」旨の説明があった。
- (8) 委員から「高齢者の運転で、赤信号に気付かず直進してくるなど、ヒヤヒヤする場面が何度もあったので取締りを願います。」旨の要望がなされ、警察署から「交通違反取締りについては、枕崎署管内一円で実施しており、今後も交通事故抑止に真に効果のある取締りを継続してまいりたい。高齢者の交通事故対策としては、県下において、交通事故歴を有する75歳以上の高齢者に対する訪問指導を行っている。当署においても、交通違反取締りと並行して、高齢者に対する個別指導や参加・体験型のナイトスクールの開催などを実施しているが、今後も継続して交通事故抑止のための活動を推進してまいりたい。」旨の説明があった。

### 3 諮問・答申

警察署長から「近年、全国的に警察官の初任給が引き上げられたものの、離職者が多い状況が続いている。県警察では良好な職場環境の構築に取り組んでいるところであるが、署協議会委員として活動される中で、警察に対する見方や理解にどのような変化があったか。警察官採用の在り方等についても御意見をいただきたい」旨の諮問がなされ、委員からは「最近、警察学校が舞台となるドラマを見たが、規律が厳しすぎるように感じた。」、「署協議会委員となり、警察の仕事をやりに身近に感じるようになったが、警察は国民の生命、身体及び財産を守らなければならないので、ある程度の厳しさは必要だと思う。今の若い人たちは、厳しく指導を受けた経験のない人が多いので離職者が多いのではないかと。警察は福利厚生が良いので、そこを全面的に打ち出せば良いと思う。」、「若い世代は、対人の仕事に苦手意識があるように感じる。警察は人と接する仕事が多いので、それがストレスになる若者も多いのではないかと。」、「警察官の居住する官舎が古いのではないかと。」旨の答申がなされた。

備 考